

3. 歓迎挨拶

(第1セッション:開会にあつたての全体会議, 2004年5月24日)

Eurostat 部長 Pedro Díaz Muñoz

Grüttner 大臣様, 同僚諸君, 皆様

まず初めに, 他の責務のために今日出席できなかった Eurostat 局長の Vanden Abeele 氏に代わって謝りたいと思います。

ドイツ統計局と Eurostat つまり欧州連合統計局の共同会議である Q2004 へようこそ。この会議は, 欧州統計システムの品質管理にむけた共通の努力を形成することに専念されます。Eurostat と私の同僚であるドイツ統計局長の Johann Hahlen 氏に代わり, すばらしいこの建物に集まった皆様に歓迎することは私の喜びです。

少なくとも皆さんの何人かが気づいているように, Q2004 は欧州レベルにおいてこのタイプの初めての会議ではありません。それは実は, 2001年5月にストックホルムで行われた政府統計の国際会議である Q2001 に続くものです。

もちろん, 2つの略語である Q2001 と Q2004 がとても似ているということは偶然ではありません。両方ともに, 品質に関する指導的専門家グループ (LEG) として知られる統計の品質に関する欧州の専門家小グループと, この LEG につづく品質実行グループの作業に基づいています。これらの作業は両方の会議に多方面で影響を与えてきました。Q2001 は LEG の暫定的な結果が初めて一般的な統計界に公になった出来事でありました。私はこの会議に出席しましたが, 私の同僚であるスウェーデン統計局の Svante Öberg 氏が彼の演説で確認するように, 結果は国際的な統計社会に良く受け入れられました。

最終 LEG 報告は広範囲の論題をカバーするおよそ 20 の勧告を含んでいました。これらの勧告のいくつかはかなり一般的であり, 他はとても詳細で精密でした。これらは, 統計の品質における欧州連合による定義や品質の内容の改善された測定の適用, 全体的な品質管理接近方法の利用, 例えば利用者の満足調査を通じた利用者の要求についてのより良い知識, 現時点における優れた実践や勧告された実践の展開, 記録の改善, 等のような分野をカバーしました。

そして, ある勧告は欧州レベルでの定期的な統計会議の組織に関わりました。この会議はもしかすると LEG のこれまでの品質作業の中で最も目立つ結果かもしれません。しかしもちろんこれで終わりではありません。政府統計の品質と品質管理は, LEG 作業, Q2001

と Q2004 会議によってカバーされながら継続される課題です。したがってこれは Q2006, Q2008 等々を正当化するでしょう。

品質は政府統計の中心的関心事であったし、今もそうであるし、絶えずそうであるでしょう。高品質なデータを生産するやり方については異なった概念や接近法があるが、変わらないままである中心となる柱は少しはある。そのような核となる側面は、2002 年 9 月に欧州加盟国の国家統計局の事務総長や長官によって承認された欧州統計システムにおける品質宣言の中にまとめられました。このような基本的な規則はすべて、最近の数ヶ月で公式な欧州統計が経験しているこのような難しい時期にはより重要である。このような状況で欧州統計は、高品質な統計生産の摩擦のない継続を保証することに奉仕している。

簡単に、最後の意見についてさらに詳しく述べさせてください。統計の品質の明確な定義や品質報告書のような道具による品質の測定のおかげで、Eurostat は核となる課題に集中することができ、これは優先順位をしっかりと固定し、例えば財政的な手続の改善による人的および財政的資源の節約をふくむ効率性の獲得を作り出すことにつながりました。新しい過程は今も、新しい活動の事前および事後評価を含んでいます。2004 年 10 月までに Eurostat のデータを自由にインターネットで利用可能にする目的は大きな挑戦です。データについて利用者に説明するための仲介人がもはやいなくなるときに、統計データのアクセス可能性および明確性は向上されていかなければなりません。

統計の品質は、国や欧州や国際的なレベルすべての関心事です。国レベルの高品質な統計は欧州および国際的な高品質の統計にとって前提条件であるが、数学者が言うような、十分条件ではありません。欧州や国際レベルの統計家はそれらのレベルで高品質な統計を生産する努力を追加しなければなりません。したがって私は特に、ドイツ統計局の協力の下で国連統計部・統計活動調整委員会によって組織された「国際組織のためのデータ品質」サテライト会議を歓迎します。そして、この分野では国際協力の盛り上がりの優れた例が既に存在します。既存の品質概念および接近の調和についての IMF と Eurostat の合同事業について少し言及させてください。このような事業は欧州および国際統計の利用者の満足の増加に間違いなく貢献し、また加盟国が生産するデータの品質を報告する際に加盟国の作業を容易にするでしょう。

すべての統計組織にとって最も関心のある、より一般的な主題について最後に言及させてください。つまり増大する要求の時代における資源の削減です。これらの挑戦に対処する異なる方法は確かに存在します。1つの明らかな解決策は、既に言及されたように、優先順位の厳格な設定です。しかしすべての経験は無理からぬ限界があることを示しています。これは、私たちの社会がより早く発展し加速する速さで追加的な情報を要求しているとき

にまさしくよりあてはまることです。この点で、学术界との協力改善はこの圧力を和らげるかもしれません。この会議が政府と學術の両方の統計家からなる高水準の代表者らの討論会であることは有望な兆候です。

皆様すべてをこの会議に今一度歓迎いたします。私は皆さんの議論が実り多いことを、そして意見や情報が自由に交換されることを望みます。最後に、この行事を可能にするためにしてくださったすばらしい仕事に対して、私の同僚である Johann Hahlen 氏と地元の組織委員会に謝意を述べさせていただきます。